

第18回定例岡山県教育委員会議事録

- 1 日 時 令和4年2月4日(金)
開会15時30分 閉会17時27分
- 2 場 所 教育委員室
- 3 出席者
- | | |
|--------------|------------|
| 教育長 | 鍵本 芳明 |
| 委員(教育長職務代理者) | 服部 俊也 |
| 委員 | 松田 欣也 |
| 委員 | 梶谷 俊介 |
| 委員 | 田野 美佐 |
| 教育次長 | 池永 亘 |
| 教育次長 | 梅崎 聖 |
| 学校教育推進監 | 平田 善久 |
| 教育政策課 | 課長 大西 治郎 |
| | 副課長 江草 大作 |
| | 総括主幹 土井 隆史 |
| 財務課 | 課長 遠藤 圭一 |
| 生涯学習課 | 課長 栗原 宏之 |
| 人権教育・生徒指導課 | 課長 高山 公彦 |
- 4 傍聴の状況 0名
- 5 協議事項
- (1) 令和4年度当初予算額について
 - (2) 岡山県視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する計画(案)のパブリックコメントの実施状況等について
 - (3) 第4次岡山県人権教育推進プラン案パブリックコメントの実施状況等について

6 議事の概要

開会

非公開案件の採決

(教育長)

本日の議題の審議に入る前に、議題の公開の可否について決定したい。本日の議題のうち、協議事項（１）は、今後、議会との協議を要するものであることから、教育委員会会議規則第１２条に基づき、非公開とするよう発議する。

委員から、議題を非公開とする発議はないか。

(委員全員)

(特になし)

(教育長)

この発議は、討論を行わずにその可否を決定することとなっているので、直ちに採決に入る。協議事項（１）は、非公開とすることに賛成の委員は挙手願う。

(委員全員)

挙 手

(教育長)

全会一致により、本案件は非公開とすることに決した。

協議事項（２）岡山県視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する計画（案）のパブリックコメントの実施状況等について

- ・生涯学習課長から資料により一括説明

(委員)

パブリックコメントの意見をいただいたのが１０名のみであるが、実施の周知はどう行ったのか。

(生涯学習課長)

県のホームページでの周知が主であるが、関係団体の方には、素案の段階で事前に意見を聴く機会を設けている。また、関係者の利用頻度が高い県立図書館や県視覚障害者センターに素案の概要版を点訳したものを置き、周知も行った。

(委員)

意見をいただいた点訳ボランティアの方について、点訳ボランティアはどんな方がされているのか。

(生涯学習課長)

県視覚障害者センターで行っている点訳や音訳の本を作る養成講座でノウハウ

や技術を学ばれ、自身や団体で点訳・音訳を取り組まれている方々である。県視覚障害者センターにある書籍の4割のデータをボランティアの方に作成いただいている。

(委員)

サピエ図書館への加入を周知しているということだが、加入率はいくらか。

(生涯学習課長)

県内の市町村図書館の3割が加入しているが、逆に、7割は「ニーズがない」、「利用の声をいただかない」ということで加入していない状況である。しかしながら、サピエ図書館は個人でも加入可能であり、利便性の周知が広がれば、図書館利用だけではなく、個人で本屋に行くように自分の好きな本をダウンロードできるようになる。そうすれば、読書環境の整備にも繋がると捉えており、サピエ図書館の個人加入の増加目標も計画に盛り込んでいる。

(委員)

サピエ図書館に加入するにあたりどれくらい費用がかかるのか。

(生涯学習課長)

加入にかかる費用は、団体では年間3万円で、個人では無料である。個人利用に際して機器の購入は高額であるが、日常生活用具給付制度の補助を活用することで、実質的な負担は1割で購入することができる。

(委員)

県内の市町村図書館の加入率が3割という数字は全国と比較するとどうか。

(生涯学習課長)

3割という数字が決して高いと思わないが、全国と比較すると高い水準である。

(委員)

個人で加入することの利便性やメリットがこれほどあるにもかかわらず、加入が増えていないということは、利用者に情報発信が行き届いていないことが課題ではないか。個人の加入者数のさらなる向上を目標として記載したほうがよいのではないか。

(生涯学習課長)

ご指摘の内容については課内でも検討したが、個人加入は個人の判断であることもあり、今回が初めての計画であることも踏まえ様子を見ながら4年後の改訂の際に検討してまいりたい。

(委員)

現在は高齢化社会のため、視覚障害者以外にも本を読むことに苦勞される方が増えている。高齢者等にもサービスの周知をお願いしたい。

(生涯学習課長)

ご指摘の内容についても課題と認識しており、周知の際には高齢者等もターゲット

ットとして認識したうえで周知方法を模索してまいりたい。

(教育長)

サピエ図書館の利用にあたり制限はあるのか。

(生涯学習課長)

目が見えない方、見にくい方のどちらも利用可能であり、特段の制限はない。

(教育長)

一番意見を聞かなければならないのは障害を持つ方であり、そのような方がサピエ図書館などのサービスをどんな理由で利用しないのか調べる必要がある。

(生涯学習課長)

関係団体との意見交換会で、サピエ図書館のサービスをそもそも知らない、あるいは知っていても利用が難しいと諦める方が多いとのご意見をいただいた。

(委員)

「第1章 計画策定の背景」について、国で法律が成立し計画を作ることになった、としか読み取れない文章になっており、主体性に欠けている。社会の状況やSDGs、人権等の観点が昔と比較して重要になっていること、国連の「障害者の権利に関する条約」も背景になっていることなどを加えてはどうか。一般の方にも計画の背景を知ってもらえるような記載をしてほしい。

(生涯学習課長)

いただいたご意見を踏まえて記載を検討してまいりたい。

(教育長)

広報や周知をどこから行うか考えた際に、盲学校、視覚障害者センター、そして市町村の障害福祉関係の部署の3つが挙げられる。このうち、市町村の障害福祉関係の部署では、地域にお住いの障害を持つ方々の状況を把握していると思われるため、そのような方々に周知をする際には、県の保健福祉部経由で市町村の障害福祉関係の部署の方々をお願いするのがよいと考える。

(委員)

小さな子どもたちは制度等を知らないことが多い。そのような子どもたちにも届くような周知をしてほしい。

(生涯学習課長)

県立図書館を小学生が見学する際に、サピエ図書館のようなサービスや機器があることを伝えることが出来ればと考える。県立図書館と連携して検討してまいりたい。

(委員)

民間企業も含めて色々な団体と連携して取り組んでほしい。

(委員)

読書環境の観点は企業側も配慮をしていかなければならない。保健福祉部のみ

でなく、産業労働部等からも企業等に向けて情報発信をしていくべきである。

(委員全員)

了 承

協議事項（３）第４次岡山県人権教育推進プラン案パブリックコメントの実施状況等 について

・人権教育・生徒指導課長から資料により一括説明

(委員)

パブリックコメントではどんな団体から意見をいただいたのか。

(人権教育・生徒指導課長)

例えば相談業務に関わる団体や、委員会に入っていない市町村教委、特別支援学校のPTAの方などから意見をいただいている。特に委員会に入っていない市町村教委については県内で足並みを揃える必要があるため、直接足を運び説明、意見交換を行った。

(委員)

項目の順番について、「インターネットによる人権侵害」はもっと上位にしても良いのではないか。

(人権教育・生徒指導課長)

項目の優先順位については第５次岡山県人権政策推進指針を踏まえて項目を揃えており、「インターネットによる人権侵害」を決して軽視しているわけではない。

(委員)

テーマがより深まったものはあるのか。

(人権教育・生徒指導課長)

第３次岡山県人権教育推進プランでは「情報教育の推進」ということで項目立てをしていたが、今回は「デジタル化への対応」と単なる教育に留まらない内容となっている。

(委員)

今回の人権教育推進プランは学校園に向けたものか、それとも県全体に向けたものか。県全体なら企業や行政に向けても記載してほしい。企業での人権教育についても課題となっている。大企業は人権教育を行っている場合が多いが中小企業では出来ていない場合が多い。

(人権教育・生徒指導課長)

プラン案の１５ページに「地域における多様な学習機会の提供」として「地域の企業・事業所等と連携した取組を展開するなど」とあるが、ご指摘のとおり我々も社会教育の中で意識をしながら研修等で工夫し、周知しなければならないと考える。

(委員)

企業側に対しても、岡山県では最低限これぐらいの人権教育をする、という基準を示してほしい。社会教育と学校教育が連携して人権教育に取り組んでほしい。

(教育長)

PTA の人権教育は積極的に行っているところであり、同じような内容を企業に出向いて行ってもよいのではないかと考える。

(人権教育・生徒指導課長)

現在でも人権施策推進課と一緒に指導者育成講座を行っており、そのような方の活用の仕組みづくりを検討できればと考える。

(委員)

新型コロナウイルス感染症への対応についてもしっかりと議論したのか。

(人権教育・生徒指導課長)

知識理解だけでなく、偏見・差別に繋がらないような人権感覚を高めること、行動として現れるように他の人権課題と結びつけること、ワクチン接種の強要などについて様々な議論を行った。

(委員全員)

了 承

以下、非公開のため省略。

閉会